



(山吹議員)

- Q 農道、林道を利用してクロスカントリーコースを。
- A 正規のコースとして指定することは難しいと考えている。
(上馬場義文建設課長)



整備中の千ヶ峠林道（ゆるぎ観音側）

A 熊野北農道から観音平農道、町道宮前椎川線、白石林道の4路線は、森林レクリエーションのための働きも持っている。クロスカントリーコースについては、正規のコースとして指定することは難しいが、大会等を開催するに当っては、関係機関と協議、検討を行っていききたい。

Q 今年度、千ヶ峠林道が観音平線（ゆるぎ観音付近）に繋がると聞いていますが、開通した道路と既存の町道、農道を利用してクロスカントリーコースとすることはできないか。

(藤本議員)

- Q 町内の施設や備品の状況について問う。
- A 老朽化が進んだ施設については改修を予定しており、必要な備品等も購入を行っている。
(平町総務部長、加藤教育部長)



教育部門

Q 既存の施設や備品についての耐用年数、補修計画等の長期的なビジョンについて、各自治会館や地域の公会堂等の劣化状況や備品の損傷等はどうなっているか。

A 最も古いもので、老人集会所は築後20年、コミュニティセンターは16年が経過している。老朽化に伴う施設修繕等の要望があった場合には、補助金事務取扱要領に基づき、10万円以上の修繕で1施設当り30万円を上限として、改築費の5分の3の補助を行っている。なお、備品については各自治会の備品となっている。
(平町総務部長)

Q 町民会館など、各施設の冷暖房施設の状況は。また、各学校の楽器等の高額の備品の補充状況はどうか。

A 中公民館、西公民館、東公民館には、全室に個別の空調設備を設置している。町民会館については、1つのボイラーで全室に対応する旧式のもので、細かい温度管理が困難な状態にある。土・日を含め利用者の多い施設であることから、耐用年数等を勘案し、改善・改修について検討していききたいと考えている。各学校の備品補充については、購入希望を学校と協議し、予算内で購入・補修を行っている。両中学校の楽器購入については、平成13〜17年度で約50万円の購入実績がある。平成18年度からは、両校に50万円ずつ楽器購入のため予算を計上しており、平成19年度では既に購入を終了している。(加藤教育部長)